

輝く

島の人たちに
いやしと楽しみを
届けたい

かずはる
小崎一治さん

(御所浦町横浦・56歳)

※右から2人目(ギター)



良質な陶石の産地を巡る

天草西海岸秋の窯元めぐり



▲お目当ての商品を探す来場者のようす

第28回天草西海岸秋の窯元めぐりが、10月6日から同10日まで天草町と苓北町の9つの窯元で開催されました。良質な陶石の産地で知られる天草西海岸一帯をPRしようと天草陶石研究開発推進協議会が毎年この時季に開催しているもの。各窯元では、絵付け体験などが行われたほか、期間中は割引販売されるとあって、お目当ての商品をもとめる多くの来場者でにぎわっていました。

浦の民話と歴史を一冊に

「浦の民話と歴史」発行



▲「浦の民話と歴史」を手にもつ浦地区振興会の皆さん

倉岳町の浦地区振興会では、地域に伝わる民話や歴史を一冊に収めた「浦の民話と歴史」を発行しました。全国から浦地区の地域づくり推進に寄せられた「ふるさと応援寄附金」を活用し、地域の歴史と文化の継承を目的に作成したもの。同会の会員が地域での聞き取り調査や郷土史料を基に編集を行いました。

完成した本は同地区の全世帯や寄附者に配付したほか、希望者への販売も行っています(問い合わせは同会事務局☎④3188へ)。

みぞか号のことを学びました

空の日のフェスタ2016in天草空港



▲対空通信室を見学するようす

10月16日、天草空港で「空の日フェスタ2016in天草空港」が開催されました。空港や航空機に親しんでもらうため、天草空港「空の日」・「空の旬間」実行委員会が毎年開催しているもの。催しでは、映像やクイズを交えた新型みぞか号(ATR機)の説明や普段は見られない対空通信室の見学、パイロットや客室乗務員の制服を試着するなりきりコーナーなどを実施。多くの家族づれなどでにぎわいました。

高齢者も元気に走る!

御所浦北地区運動会



▲笑顔でゴールする参加者

10月2日、御所浦北グラウンドで「第2回御所浦北地区運動会」が開かれました。同地区振興会が主催しているもので、横浦島の住民300人が参加し、30競技を実施。

「元気に走ろう!」と題した老人会の40m競走には、60歳以上の住民70人が出場。友人と手をつないで元気に笑顔でゴールした桑原美恵子さん(89歳)は、「初参加でしたが、みんなと走れてとてもうれしかった」と笑顔で話していました。

御所浦町横浦島の水産加工場に集まってバンドの練習をしているおじさんたちがいる。桐谷健太が歌う「海の声」や、かぐや姫の「神田川」などをギターやサクソフで演奏し、曲にのせてボーカルがみごとに歌声で聞かせる。バンド名は「アイランドスターズ」、アコースティックギターを弾いているのがバンドマスターを務める小崎さん。バンド結成のきっかけは、平成24年3月の御所浦北中学校の閉校式で余興をやるうと小崎さんが呼びかけ3人で始めた。現在のメンバーは5人で、主な活動は、「公民館ライブ」と題して横浦島の自治公民館2カ所とコミュニティセンターで年に1回ずつライブを開催している。高齢者向けに演歌、子ども向けには童謡なども演奏して観客を楽しませている。11月13日には御所浦地区文化祭とグループホーム優海で2回のライブを予定している。

このほかにも天草空港で開かれる「空港マルシェ」などにも出演しており、「オフアールがあれぱできる限り受けるようにしています」と小崎さん。メンバーからは、「何でも受けるもんだから、つごうをつけるのが大変なんだよ」と言われる。ライブ後の打ち上げには、メンバーの家族も参加し、ほろ酔い気分でメンバーの子どもたちもいっしょに演奏を楽しみながら労をいやしている。そんな小崎さんが、「島の人たちのいやしと楽しみなればという思いで、ずっと続けていきたい」と話してくれた。

【問い合わせ先】☎0969⑦3566小崎さん